《Lesson 1》受動態の肯定文

受動態とは主に「～される」と訳される形です。例えば「この部屋は毎週火曜日に掃除されます」「この記事は、彼女によって書かれました」といった文です。今まで学んできた文（能動態の文）は「私 はこの部屋を毎週火曜日に掃除します」「彼がこの記事を書きました」といった表現だったのですが、受動態では主語と目的語が代わります。受動態の基本的な形は、

主語＋be動詞＋動詞の過去分詞

となります。be動詞に関しては

現在形の文 ＝ am / is / are　　過去形の文 ＝ was / were

となり、文全体の現在・過去は「be動詞」で分けられます。また、 今回初めて登場する「過去分詞」ですが、

動詞の過去分詞の多くは、過去形と過去分詞が同じ形

です。そのため、一般動詞の最後に ed を足すだけで過去分詞となる動詞も多いです。また、最後が「子音＋y」の場合は y を i に変えて ed を足すことで過去分詞にし、 like のように単語の最後が e で終わる動詞の場合は d だけを足して過去分詞にします。

【受動態の肯定文：基本の形】

主語 ＋ be動詞 ＋ 動詞の過去分詞 ＋ ～.

（「主語」は「動詞」されます）

【一般動詞を過去分詞にする方法】

① ed を足す場合＝大部分の一般動詞 （単語の最後が“子音 ＋ y” の場合 →“y” を “i” に変えて “ed”）

＜例＞ This song was played yesterday.　（この歌は、昨日演奏されました）

He was carried to the hospital last night.　（彼は、昨晩病院に運ばれました）

② d だけを足す場合＝一般動詞の最後が e で終わる

＜例＞ She was saved .　（彼女は救われました）

That room is *always used.　（あの部屋がいつも使われています）

*受動態の文に頻度や時を表す「副詞」を足す場合、（be動詞の文と同様）be動詞の後に足される。

【受動態の肯定文：作り方】

ステップ①：主語を変えず、受動態ではなく能動態の文を作る。

ステップ②：「動詞」を「be動詞＋過去分詞」の形に変える（現在・過去はbe動詞で分ける）。

＜例1＞「この歌は、昨日演奏されました」 という文の場合

ステップ①：受動態ではなく能動態の文を作る。

「この歌は、昨日演奏しました」

This song played yesterday.

ステップ②：「動詞」を「be動詞＋過去分詞」の形に変える（現在・過去はbe動詞 で分ける）。

This song was played yesterday.

（主語が this song の過去形の文なので be動詞＝was）

＜例2＞「彼は、昨晩病院に運ばれました」 という文の場合

ステップ①：受動態ではなく能動態の文を作る。

「彼は、昨晩病院に運びこみました」

He carried to the hospital this morning.

ステップ②：「動詞」を「be動詞＋過去分詞」の形に変える（現在・過去はbe動詞で分ける）。

He was carried to the hospital this morning.

（主語が he の過去形の文なのでbe動詞＝was）

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。